

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

商品として、企業として、『より美しく』を追求し、持続的利益と独自の文化的価値を創出する。

戸建住宅販売
702戸

棚卸資産
62.4%減

有利子負債
44.3%減

② 中長期の経営戦略

1. 住宅事業の方針転換

基本方針を「総量」から「高付加価値」へ転換。エリア・立地厳選とコスト削減・商品改善に注力。

3. 木質資源カスケード事業

林業と工業の接続機能を担う製材事業を軸に、地域の林業を適切に循環させる。

2. 製材工場の事業化

2024年9月稼動に向け株式会社ランバーランドを設立。国産製材品の安定供給体制構築。

4. 非住宅分野の拡大

木造建築で2棟の売上実現。中規模木造建築の受注拡大に営業活動を注力。

③ 対処すべき課題

① 住宅事業の収益性回復

- ・ 過剰在庫の処理により純資産が毀損。本格的な回復は下半期以降見込み。
- ・ 用地仕入基準の見直しと商品ラインアップの充実が急務。
- ・ 戸建住宅市場の需給バランス崩れに対応した商品供給が必要。

② グループ内事業連動性の強化

- ・ 建材事業が住宅事業の生産調整の影響を直接受ける構造。
- ・ グループ外受注確保で収益改善を図るも、国産集成材の市場浸透が課題。

③ 自己資本比率と財務体質の改善

- ・ 製材工場建設による先行経費負担。翌期は経費圧力が増加。
- ・ 持株会社体制下でのガバナンス維持・強化が必要。

面接で使えるポイント

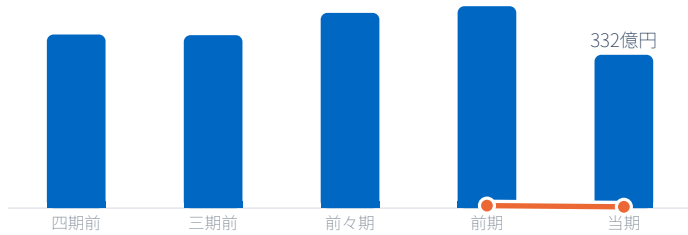
- ・ 愛知県の戸建住宅市場で需給バランスが崩れた中、販売702戸に減少させて財政改善を優先した経営判断。
- ・ 2024年9月稼動予定の製材工場で国産材の出口戦略を整備し、木質資源カスケード事業を実現する構想。
- ・ 持株会社体制へ移行して事業分社化し、各事業の投下資本効率向上と独立した発展を目指す新体制。

株式会社ウッドフレンズ

不動産業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 5月31日 | ...

EDINETコード E03988

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
332億円

営業利益率
▲5.3%

財務健康度
8点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 35.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
547万円

平均年齢
39.3歳

平均勤続
7.6年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社ウッドフレンズ 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

